

しゃきょう 2022年7月号 201号 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



三宅中学校第1学年の皆さんと高齢者疑似体験をしました！



笑顔でスタート！

令和4年5月27日に三宅中学校体育館にて第1学年の皆さんと一緒に「ボランティア」について考えました！身近なボランティアとして「高齢者」に対し理解を深めてもらうために、「高齢者疑似体験」をしてもらいました。ふたり一組になって、ひとは疑似体験セットを身に付け、ひとは介助をして「校内散策」「車いす体験」「立ち上がり体験」「読み書き体験」を行いました。「校内散策」では体育館の階段を利用して、階段の上り下りの介助などを行い、「車いす体験」では車いすの取り扱い方などを体験し、「立ち上がり体験」では社協の電動ベッドを持ち込み、実際に社協で活躍している介護士に介助をしてもらう体験をしました。「読み書き体験」ではこちらが用意したアンケートへの記入をしてもらいました。「高齢者疑似体験」で、どのように介助したら高齢者の方が安心して身を任せることができるのか自分の身をもって経験してもらえたと思います。この経験がいつか皆さんが「ボランティア」をしようとしたときに、「自信」となって皆さんの背中を押してくれる材料となればうれしいです。この日は蒸し暑い日でしたが、汗だくになりながらも一生懸命「高齢者疑似体験」をしている姿を見て、



読み書き体験



立ち上がり体験



車いす体験

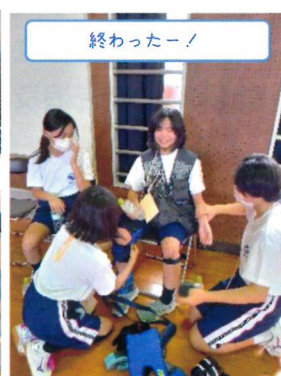
きっと、皆さんならどんなボランティアでもできると思いました。優しく、賢く、勇敢な皆さんの今後の活躍を期待しています！私たち社協の職員がお手伝いできることがあれば声をかけてくださいね！そして、三宅中学校小澤校長先生、櫻井副校長先生、第1学年担任の先生方、ご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。今回の「高齢者疑似体験」だけではなく、日ごろから生徒さんのことについて熱心にお話をされる先生方の情熱的な姿勢に、私たち社協職員はとても刺激をいただいております。こちらの不手際でご迷惑をおかけしますが、まだまだ懲りずにお付き合いいただくとありがたいです。そして「ボランティア」を一緒に考えてくれた三宅中学校1年生の皆さん、素敵な時間をありがとうございました！



活動証明書授与式



ちょっと休憩！



終わったー！

疑似体験が終わったら、社協の職員や先生方が声をかけたわけでもないのに、みんなで協力してほかの子の用具を外す姿や、社協の職員が用具片付けをすると駆け寄ってお手伝いをしてくれました。その気持ちが…きっとボランティアだよ。すべてが優しい世界で、ボランティアがふれている高齢者疑似体験でした。

「身近な相談相手…民生委員」

「学校には、学級委員、図書委員、給食委員がいます。」



あなたの周りには民生委員・児童委員がいます。



あなたの身近な相談相手…民生委員・児童委員」

こんなCMをTVやラジオで視たり、聴いたりしたことがありますか？比較的早い時間帯に流されていて、ゴールデンタイムにはほとんど流されていないので中々機会がないかもしれませんが、かつてはなかったCMのひとつです。これは民生委員・児童委員へのお誘いの呼びかけで、今年度12月1日に3年に1度の一斉改選の時期を迎えるからです。

さて、ご承知の通り、民生委員・児童委員にはそれぞれ担当する地域にあって、常に住民の立場に立って相談に応じるとともに、必要とする関係機関に「繋ぐ（つなぐ）」役目を担い、社会福祉の増進に努める任務があります。また、児童委員は地域の子ども達が元気で安心して暮らせるように子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援などを行います。最近ではこの委員のなり手が年々減ってきており、三宅島でもその例に漏れず、年齢超過者やいろいろな状況からの継続困難な者が多く、後任の充足に苦慮しているところです。12月の改選期から委員定数が改正され、各地区1名ないし2～3名の配置・担当となりました。

民生委員・児童委員							主任児童委員	合計
	神着	伊豆	伊ヶ谷	阿古	坪田	小計		
現行定数	3	2	2	3	3	13	2	15
改正後定数	2	1	1	3	2	9	2	11

上記の表のように、各地区の担当委員は基本的に当該地区を居住することが望めます。そうすることにより、地域との太いパイプを持つことができ、より深い結びつきを図るとともに更なる信頼性の高い関係を築くことが可能となってきます。

少子高齢化はますます進み、老々介護の現状は深刻な課題です。孤独死の報告も事実です。表面化していない子どもの問題もあります。子どもに元気で安心をもたらすのは大人の責任で、表面化してこない子どもの問題もあります。子どもに元気で安心をもたらすのは大人の責任です。また、3年目に突入した新型コロナウイルス感染症などに起因する経済の混迷や全世界を混乱の渦の中に陥れている不安情勢も見逃せません。いつどこで何が起こっても全く不思議でもありませんし、大規模な気候の変化も視野の中に入れておかななくてはなりません。



こうした諸問題に対して、課題解決に取り組む必要がもう始まっています。それは遠い将来の問題ではなく、身近に迫ってきているからです。各々が広い視野に立って、出来ること・出来ないことを明確にして、出来ないことは何が問題なのか、どうすれば出来るのかを追及して、小さなコミュニティから大きなコミュニティへと作り上げていくことが早急に求められます。

最後に、民生委員・児童委員もそのコミュニティのひとつではないでしょうか。

(文責：三宅島民生児童委員協議会 会長 高松英夫)

老人クラブに参加してみませんか？

皆さん、コロナ禍の中、おうちでなにをされていますか？三宅島には5地区5つの老人クラブがあります！コロナウィルス感染症の影響でお休みをしていた老人クラブもありますが各地区老人クラブが再開しています！老人クラブでは、健康体操や様々なレクリエーション、ポッチャなど、それぞれの地区で楽しんでいます。下記老人クラブは会員を募集していますので、興味のある方は各地区老人クラブ担当者に連絡していただければと思います！どんな方でも大歓迎ですので、ぜひ、参加してみてください！

伊ヶ谷老人クラブ

月に1回開催しています！みんなで仲良く色々な活動を行っています！伊ヶ谷地区の方、どんな方でも大歓迎ですので、お気軽にご連絡ください！

連絡先：高松会長

伊豆老人クラブ

月に1回開催しています！現在は少ない会員で活動していますが、アットホームな雰囲気ではどんな方でも大歓迎です！
お気軽にご連絡ください！

連絡先：島崎会長

阿古長寿会

明るく楽しくをモットーにしている阿古の老人クラブの阿古長寿会です！月に1回の開催ですが、みんなで楽しい時間を過ごしましょう！ぜひ、ご参加を！

連絡先：有馬会長

神着老人クラブ

毎月1日に神着老人福祉館で開催しています！健康体操やレクリエーションを行っています！和気あいあいとした雰囲気で開催していますので、ぜひ、ご参加ください！

連絡先：浅沼会長

坪田常磐クラブ

毎週月曜日に開催しています！温かい雰囲気を大切にしています！月に1回からの参加でも構いませんので、ぜひお立ち寄りください！送迎もしております！お気軽に！

連絡先：堀井副会長

三宅島老人クラブ連合会の事務局は三宅島社協が行っております！

なにかご不明な点がございましたらご連絡ください。（担当：早川）

熱中症に気をつけよう！

2021年5月～9月までの間で、熱中症で救急搬送された方は全国で47,877人だったそうです。その中の約58%が高齢者の方でした。皆さんは、高齢者の方の熱中症発生場所はどこだと思いますか？晴れた日に畑仕事をしているとき？それとも外を散歩しているとき？いいえ、違います。高齢者の方が熱中症にかかる場所は大半が屋内でした。おうちの中にいるから大丈夫ということはありません。気温や湿度に注意しながら熱中症の対策をしましょう！

いつでもどこでもだれでも条件次第で熱中症にかかる危険があります！

- ①水分をこまめに取る！（のどが渴いてなくても水分をとる）
- ②塩分をほどよく取る！（適度に塩分を取りすぎずにほどよく）
- ③睡眠環境を快適に保つ！（しっかり睡眠をとる）
- ④食事をしっかり取る！（食欲がなくてもまず食べる）

暑さをやわらげましょう！

- ①室内を涼しく！（エアコンを使って室内は涼しく！）
- ②お洋服も工夫をして！（通気性のいい服や吸収性のいい服を！）
- ③日差しをよけて！（できるだけ太陽にあたらさない！）



この状況になったらすぐに連絡を！



- ①めまいや顔のほてりを感じる
- ②筋肉痛や筋肉のけいれんがおこる
- ③体のだるさや吐き気を感じる

関係機関連絡先

中央診療所 2-0016 めぐりケアセンター 090-2655-1529

包括支援センター 5-1832 三宅島社協 8-5888

障がい福祉 いぶきだより



開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

7月のいぶき活動

緑化活動 6・13・20・27日(全水曜日)

外出支援 21日(木曜日)



毎月第3木曜日は自宅で使う日用品や食材など、前日に買うものを考えて、買出しに行っています。月に1回、商店や飲食店のお弁当を買って、外でランチを楽しんでいます!
写真は伊豆岬でランチをした1枚です☆

ちけん通信

Vol.39 悩みを聞いてもらうことはできますか?

Q.

悩みがあるけど誰にも相談できません。
話を聞いてもらえますか?

そうだ!

社協の地権に

相談して

みよう!

ご相談ありがとうございます!ちけん担当の
ヤナガワです。もちろんです!ぜひ、お話を聞かせてく
ださい!「ちけん」事業の中で解決できることはもちろ
んのこと、「ちけん」事業内では解決できないことで
も、一生懸命お手伝いさせていただきますので、どんな
悩み事でもおひとりで抱え込まずに、まずは、私に相談
いただければ嬉しいです!「ちけん」事業は一般的に
「お金の管理」と思われがちですが、三宅島社協の「ち
けん」は「お金の管理」だけではありませんのでご安
心ください!電話やメール、直接のご相談など、
ご希望に合わせた形でサポートさせていただいて
いますのでお気軽にご相談ください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象と
して、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報
提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当:柳川(やながわ)【直通 8-5883】まで!

復活

ちいき けいじばん 地域の掲示板

三宅島巨樹の会

～会報「やどり木」7号 発行～

コロナ禍で活動も休みがちでしたが9月からは
観察会・調査会・植樹会など再開いたします！
まずは会報「やどり木」7号発行しています！
20ページに三宅島の巨樹情報満載の内容です！
ご希望の方はお問い合わせをいただくか、直接
自宅に来ていただければ無料配布いたします！

～「やどり木」会員募集！～

三宅島は度重なる噴火にも耐えた素晴らしい巨樹を
身近に見ることができる東京に1番近い島です。
巨樹観察会・調査会・植樹会などで三宅島の巨樹を
一緒に楽しんでみませんか？年会費一口500円と
なっています！「やどり木」では島民・
全国から会員をいつでも募集しております！

代表：佐久間 文夫

三宅島巨樹の会活動写真（写真提供：島崎広光さん）



社協だよりでは地域で活動されているサークルや住民活動のお知らせを「地域の掲示板」として
お知らせするお手伝いをしています。掲載希望の方は社協（8-5888）までご連絡ください。

職員 紹介

三宅島での暮らしが大好きです！

4月から非常勤職員として社協でお仕事させていただいている
杉本慶子（すぎもとけいこ）です！2005年避難解除後に
父の住むこの三宅島に移住してきました。いろいろな方に親切に
していただき、島での暮らしが本当に大好きになりました！
まだまだ未熟者ではありますが、三宅島の皆さんのお役に立てる
ように、精いっぱい頑張りたいと思っていますので、
どうぞよろしくお願いいたします！



みやけしま社協だよりは（163号）より「印刷工房めじろ作業所」さんで印刷・製本していただいています！

特定非営利活動法人羽ばたく会 身体障がい者の社会参加と活動の場 **印刷工房めじろ作業所**

〒182-0022 東京都調布市国領町 1-3-1 調布セントラルアパート 1階 TEL/042-443-1633 FAX/042-443-1632